



小中学生の読書活動の推進

< 5年後の目標 >

区立図書館、学校図書館および関係団体等による、
小中学生の読書習慣の定着に導く取組の充実

重点取組

学校図書館の利活用の推進

小中学生の学齢は、読書を通じてさまざまな事柄を体験し、視野を広げ、自身の感性を磨いていく大切な時期です。学校で過ごすことの多いこの時期の読書活動の推進には、身近な環境である学校図書館を活用した取組が欠かせません。学校図書館への人的支援および情報化により、調べ学習等、各小中学校の実情に応じた学校図書館のさらなる利活用を図ります。

主要指標

指 標	平成29年度実績値	令和6年度目標値
小学生の読書率 [※]	98.5%	100%
中学生の読書率	93.7%	100%

【数値出典】平成29年度「児童・生徒の読書活動状況」等に関する調査



※は、P42の用語説明参照

➤ 施策一 学校図書館の充実

《取組事業》

1 学校図書館の利活用の推進 ★

(1) 学校図書館の利活用と運営の充実

小中学校が学校図書館運営計画および読書活動推進のための指導計画^{*}を作成し、それらに基づき学校図書館のさらなる利活用を図ります。また、学校図書館の運営を支援する保護者や、ボランティア・地域住民と協力しながら、本の貸出し、計画的な資料の収集、よみきかせ等、学校図書館運営の一層の充実を図ります。

指 標	平成29年度実績値	令和6年度目標値
読書活動推進のための指導計画作成割合 (小学校)	80.0%	100%
読書活動推進のための指導計画作成割合 (中学校)	70.6%	100%

(2) 学校図書館への人的配置による支援

区は、学校図書館の機能を十分に活用した読書活動や学習指導が展開できるよう必要な人的配置を行い、図書選定の支援や図書の紹介、蔵書管理、調べ学習の教材図書の準備等、学校図書館を支援します。

(3) 学校図書館所蔵図書の情報化

区は、児童・生徒にとってより利用しやすい学校図書館とするため、令和2年度末までに、全区立小中学校への学校図書館蔵書管理システムの導入を完了します。

指 標	平成29年度実績値	令和6年度目標値
学校図書館の貸出冊数（小学校）	—（※ ¹ ）	令和3年度より増加
学校図書館の貸出冊数（中学校）	—（※ ¹ ）	令和3年度より増加

※¹ 令和3年度分から全校の貸出冊数が集計できるようになります。

※は、P42の用語説明参照

(4) 学校図書館の資料等の充実

小中学校は、学校図書館の資料の更新や新規購入を行い、児童・生徒の多様な興味・関心にこたえられる図書、各教科や総合的な学習の時間に必要な図書を充実します。また、区立図書館の除籍図書のリサイクルや寄贈図書を活用し、学校図書館や学級文庫の充実を図るほか、図書以外の電磁的記録、リーフレット、標本といった学習に必要な教材の整備を検討します。

(5) 図書館資料の団体貸出

区立図書館は、小中学校における読書活動を支援するため、図書館資料の団体貸出を進めます。また、調べ学習を支援する図書を小中学校に貸し出せるよう、学校支援用図書の充実に努めます。

指 標	平成30年度実績値	令和6年度目標値
区立図書館による学校等への団体貸出冊数	152,666冊	160,000冊

(6) 学校図書館における調べ学習の充実

小中学校への児童生徒用タブレットPCの導入に伴い、学校図書館では、図書とインターネットを活用した調べ学習等の充実を図ります。

コラム



学校図書館蔵書管理システムの児童用画面

令和2年度末までに学校図書館蔵書管理システムを全区立小中学校に順次導入し、蔵書管理の効率化およびレファレンスの充実を進めています。

2 学校図書館の地域開放の活用

地域の方に開放している学校図書館を活用して、子ども向けの図書の貸出やおはなし会等を行います。さらに地域の人材を活用し、行事の充実、蔵書の整備を進めます。

また、学校応援団^{*}による「応援団まつり」でよみきかせやイベントを実施します。

3 放課後の「ひろば事業」における読書活動の推進

放課後の「ひろば事業」^{*}では、小学校の学校図書館を在校生の「読書の場」として活用します。ひろば事業を通じて学校図書館の利用を拡げることにより、児童がさまざまな本に触れる機会を提供します。

4 読書指導の充実

- (1) 小中学校の図書担当教員が、学校図書館の運営や児童・生徒の読書活動の推進に役立つ知識や技術を習得できるように、講習会や研修を実施します。
- (2) 小中学校の図書担当教員による読書指導の実践事例の紹介や意見交換を通じて、読書指導充実のための取組を全校へ拡げます。
- (3) 区は、小学校と関係団体との連携・協働を進めるとともに、学校図書館開放指導員の研修を実施します。



^{*}は、P42の用語説明参照

② 施策二 読書習慣を形成するための事業の充実

《取組事業》

1 小中学生の家庭読書の推進

(1) 家庭読書に関する情報の発信

家庭での読書は、親子で同じ本を読んで、お互いの感想を共有するなど、本を媒介に家族が話し合い、絆を深める等の効果があります。区立図書館は、家庭での読書習慣が定着するよう、推薦図書などの家庭での読書活動に関する情報を発信します。また、小中学校や学童クラブ等は、保護者へのお知らせや保護者会等を通して、家庭での読書を勧奨・啓発します。【新規】

(2) 保護者の読書活動の推進

児童の読書習慣の定着には保護者の読書習慣が影響することを踏まえ、様々な機会をとらえ、読書に対する興味をもてるような情報提供を工夫し、保護者の読書活動を勧奨・啓発します。【新規】

2 多様な読書活動の推進

(1) 小中学校では、朝読書等による全校一斉の読書活動や、読書週間等の学校行事における取組により読書時間を確保します。また、テーマに沿って本を紹介するブックトークやよみきかせ等による読書指導を、年間を通して計画的に実践することで、児童・生徒の読書習慣の定着に取り組みます。

(2) 小中学校では、読書感想文コンクールの課題図書を紹介し、コンクールへの参加を奨励する等、多様な取組を進めます。

(3) 日本の子どもが多文化共生への理解を深めるため、外国の文化、国際理解等の関連図書を充実します。【新規】

3 読書活動への関心を高める事業の実施

(1) おはなし会、よみきかせ等各種事業（再掲14ページ）

区立図書館は、子どもの発達段階に応じたおはなし会やよみきかせを実施し、読書への関心を高めます。また、子どもが読書を始めるきっかけとなるよう、工作会、科学あそび、人形劇等の催しを実施し、図書館への来館を働きかけます。

(2) 出張おはなし会、ブックトーク

区立図書館は、小中学校での読書活動を支援するため、学校を訪問し、よみきかせやブックトーク等を実施します。

(3) 児童館等でのよみきかせ等各種事業

児童館や地区区民館では、地域のボランティアと連携して、よみきかせやストーリーテリング等を行い、おはなし会を充実します。また、学童クラブでは、日々の保育の中で、よみきかせや読書の時間を設け、読書活動を進めます。

(4) 本の探検ラリー

区立図書館は、多様な分野の本に触れ、読書の楽しみを体験できるクイズ形式の「本の探検ラリー」をすべての小中学校で実施できるよう学校に働きかけます。

指 標	平成30年度実績値	令和6年度目標値
本の探検ラリーの実施校数	59校	65校

(5) 区立図書館見学、職場体験

児童・生徒に区立図書館への見学の機会を提供します。また、生徒の職場体験を積極的に受け入れ、生徒が読書への関心を高める契機とします。

事業の風景



学校図書館での図書紹介の様子



科学あそび

(6) 子どもへの図書貸出の促進

区立図書館が発行する、小学校新1年生に配布しているパンフレット「としょかんへおいでよ」や推薦図書リスト、新着本案内等の内容を充実し、図書貸出を促進します。

また、子どもの読書意欲を向上させるため、読書ノートの活用を進めます。

指 標	平成30年度実績値	令和6年度目標値
区立図書館による小学生への貸出冊数	801,368冊	850,000冊
区立図書館による中学生への貸出冊数	149,479冊	160,000冊

(7) インターネット等での情報発信

区立図書館は、子どもが使いやすく親しみやすい、子ども向けホームページを充実するなど、情報発信を工夫します。



4 社会教育施設等での講座の実施

区立図書館を始めとする社会教育施設等では、子どもの読書にかかわる講座を取り入れます。

▶ 施策三 子どもに身近な読書環境の整備

《取組事業》

1 子どもが利用しやすい読書環境の整備

練馬図書館の大規模改修時に読書スペースの充実など、区立図書館は、子どもが利用しやすい読書環境を整備します。

2 子どもや保護者が読書に親しめる環境の整備

児童館、学童クラブ等では、子どもが自由に図書等を選び、読めるようにするため、子どもの興味・関心にあわせた図書の選定に努め、読書環境を整備します。児童館では、子どもや保護者への貸出を行います。

また、施設の蔵書を充実させるため、区立図書館の除籍図書のリサイクルや寄贈図書の活用を進めます。

3 区立図書館の児童図書の充実

小中学生の興味、関心にあわせた図書の選定に努め、児童図書の蔵書を計画的に充実するとともに、児童コーナーでの新着本紹介やテーマ本紹介等の企画を充実し、魅力あるコーナーづくりを進めます。

